

# 選挙報告

真に住民本位のまちをつくりたい、市民に分かりやすい開かれた議会を作りたいという思いで、木津川市議会議員に立候補したくれはまゆみと、彼女に賛同した仲間たちが実質的に選挙活動をスタートさせたのは2月末。「選挙はがき（の宛名書き）」を、仲間から仲間へとつなげることからでした。メンバーのほとんどが主婦のボランティアで、家事とパートの合間の貴重な時間をやりくりしての活動でしたから、はがき回収も当初の予定を大幅に遅れ、郵便局へ持ち込む期限の前日まですれ込むという状態でした。しかし、最終的には目標の2000枚に到達することが出来ました。

この選挙で嬉しかったことは、**仲間の輪が広がった**ことは勿論のこと、はがきの推薦者の欄にお名前を記入して下さった方が**100名を超えていた**こと、そして木津川市の未来を担うであろう若者たちがその中のメンバーとなってくれたことです。

選挙はがき一枚一枚に込められた「くれはガンバレ!」という思いを、彼女もしっかり受け止めてくれたことと思います。（選挙担当 1より）



街頭で訴える くれはと仲間たち

## 選挙雑感（ボランティアに選挙に参加して）

通常選挙は、お金と経費が相当要るものだ（特定の政党を除いては）と認識していましたから先ず驚きでした。私の認識とは例外ばかりの選挙手法で、専従班や専門家も雇っていないため事務所は静かそのもの。今、選挙運動中なの？と思うことも。道具は年代ものの中古品、備品は手作りや4年まえの再利用といった具合で、何もかもがボランティア。（スタッフのやりくりは大変だったとおもいます）

選挙を振り返った時、原点を見つめ直しました。それにしても、1700票を超える得票はすごい！ボランティア仲間の底力にばんざい！1738票を背負った呉羽議員の責任の重さは大変ですね。今後の4年間をお願いします。 Hさんより

## 選挙費用報告

自己資金 1,841 (円)

カンパ 96,325

印刷費（選挙はがき・ポスター）

48,200

文具費（PP袋・画びょう・ペン）

7,541

通信費（選挙依頼電話代）

2,000

材料費（選挙カー上看板シート代）

最初は、なんとなく欲しかった揃いのウィンドブレーカー。でも、すぐに、何もなくても、スケジュールが前日に決まっても、応援する人が、ほとんど素人でも選挙活動十分できるんだと言う事が、わかりました。そして、人の心を動かすのは、1週間の整えられた選挙活動ではなく、4年間の日々の地道な呉羽さんの活動の積み重ねであるという事をあらためて感じました。

Mさんより